



愛 知 県
板 金 工 業 組 合

名古屋市長和区
北山町3-8-6
電話 732-1226
発行 広報委員会

中部板金協議会

第13回 通常総代会開く！

中部板金工業組合は、第十三回通常総代会を四月十九日、午後一時より石川県小松市、小松グランドホテルにて開催した。中部七県より、常任理事、理事、代議員合わせて五十余名が出席し、理事会に続き、定刻石川県板金事務局長の司会で始められた。最初に担当県である、石川県板金一理事長より開会の言葉と歓迎の挨拶があり、続いて吉岡中板協会会長より全会員が強い結束で業界発展に努力しようと呼び掛け、つづいて全板連日井理事長は就任後の一年を振り返っての感想とこれからの全板活動方針を述べられた。議案審議に入り、議長に石川県板の越野氏を選任して、提案された平成二年度事業報告、決算報告、役員改選案等、五号議案まで慎重審議され、質疑や要望発言ののち全員拍手で承認され議事終了。午後三時半、平野愛知県板理事長の閉会のことで幕となった。続いて開かれた懇親会では久しぶりの再会で楽しく賑やかに語り合う姿がみられ和やかな雰囲気が進められた。愛知県板からの出席者は、平野理事長、村上、斎藤両副理事長、早川専務、甲部、石原常務理事の六名。なお、審議内容については資料を掲載したので参照されたい。



平成3年度 事業計画

努力目標

1. 教育情報事業
関連省庁の施策及び関連業界の情報収集に努め、組合員に提供。
関連業界の材料及び施工に関する情報収集。
企業意識に基づく積算技法。
2. 調査及び研究事業
責任制度（保証制度）の推進。
資格取得による優遇措置の推進。
建築施工管理技士取得の推進。
3. 組織強化事業
本会目的達成のための必要事業。

参考事項

全板共済及び全板国保加入状況

組 合 名	組 合 員 数	共 済 加 入 数	国 保 加 入 数			
			1 種 組 合 員	1 種 家 族	2 種 組 合 員	2 種 家 族
静 岡 県 板	1 0 5 0	1	1 4	3 1	2 8	2 9
愛 知 県 板	8 4 0		4 1 0	9 4 4	4 1 8	5 9 4
岐 阜 県 板	5 0 7	5 5	2 3 5	5 3 7	2 7 3	4 4 4
三 重 県 板	3 4 7	2 3 6	2 2 0	4 5 5	2 4 1	4 1 8
福 井 県 板	3 7 0	2 1 4	2 6 7	6 3 3	2 5 8	3 5 4
石 川 県 板	3 6 5	1 5 1	2 2 5	5 1 1	1 4 1	2 1 5
富 山 県 板	6 5 4	2 8 4	4 9 0	1 0 7 6	3 6 3	6 3 6
合 計	4 1 3 3	9 4 1	1 8 6 1	4 1 8 7	1 7 2 2	2 6 9 0

平成2年度 収 支 決 算 書

自 平成2年3月 1日
至 平成3年2月28日

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	2年度予算額	2年度決算額		科 目	2年度予算額	2年度決算額	
繰 越 金	605, 278	0		総 会 費	469, 000	455, 638	
賦 課 金	904, 000	904, 000		会 議 費	786, 000	384, 543	
全 板 助 成 金	348, 000	347, 100		事 務 手 費	80, 000	80, 000	
雑 利 息	40, 000	30, 000		印 刷 費	45, 000	44, 290	
	9, 000	22, 045		旅 交 通 費	80, 000	3, 040	
				渉 外 費	70, 000	70, 000	
				雑 費	5, 000	1, 442	
				年 費	50, 000	21, 290	
				予 備 費	200, 000	200, 000	
					121, 278	0	
合 計	1, 906, 278	1, 303, 145		合 計	1, 906, 278	1, 260, 243	

平成2年度事業報告
平成2年は幸にも景気の拡大とともに、長期にわたり続いていますことは喜ばしいことですが、反面経営内容がともなわなく又、人手不足と労働時間の短縮、急速に進んでいる組合員の高齢化による組合員の減少等はいずれも組合及び企業がかかえる悩みの多い問題ばかりです。
一方全板では、国民年金基金創設、全板、日板協の合併又、国民健康保険の推進や活路開拓ビジョン調査研究も積極的に展開しております。
これらの問題に対処し、協議会では組合員に意識確立を図り、全板委員会の事業に
取り組み後継者の育成や人材確保、技術の向上、
経営基盤の確立に努めてまいりました。

「雨・屋根・水」を考える (5)

東京ドーム 一瞥

中ドラゴンズ優勝
：チョット先走りかな
？でもどこかの野球解
説者がいついていた、開
幕戦2連勝したチーム
が優勝すると。
今年のベナントレー
スは面白い。開幕戦が
4月6日だったがあい
にくの天気、だが巨人
対中日戦は東京ドーム
であるため影響なし、
第一試合6：5で勝ち
第二試合4：1で勝ち
開幕試合を連勝で飾っ
たから優勝。東京ド
ム、別名ビッグエッグ、
今回は話題の東京ド
ムを紹介します。
東京ドームは昭和63
年3月17日に350億円を
かけて完成、翌18日に
巨人・阪神戦がこけら
落としとなった。この
年は3月11日に青函ト
ンネルが開通、4月10
日に瀬戸大橋が開通と
大プロジェクトが相次
いで完成した年でもあ
った。

ドームにする野球場
に屋根を架けると言う
事は雨が降っても試合
ができると言う事が最
大の狙いである。東京
ドームで実施される公
式戦は、巨人と日本ハ
ムを合わせて約110試合
行われる。その他に都
市対抗野球、日本シリ
ーズ、日米野球、オー
プン戦、イースタン・
リーグ等合わせても140
試合ぐらいである。し
かし140試合の内屋根が
なかったら20数試合は
中止になり10月の予備
日に試合をすること
になる。屋根があること
でシーズン初めに発表
されるスケジュールの
通りに試合を行うこと
ができる。

アウトドアスポーツ
・野球とは元来、草野
球であり原っぱで行わ
れていたものである。
それが興行として行わ
れるようになり今日で
は屋根が必要になって
きた。これは野球に限
ったことではない、つ
い先頃オープンした有
明コロシアムはテニス
コートである。都会で
はスキー場も屋内にあ
り、陸上競技のトラッ
クなども屋内がずいぶ
多くなってきた。い
ろんな屋根を作る。昔は草
であった屋根が、松皮や
板になり瓦になつてき
た。金属屋根は銅板な
どが亜鉛鉄板やカラー

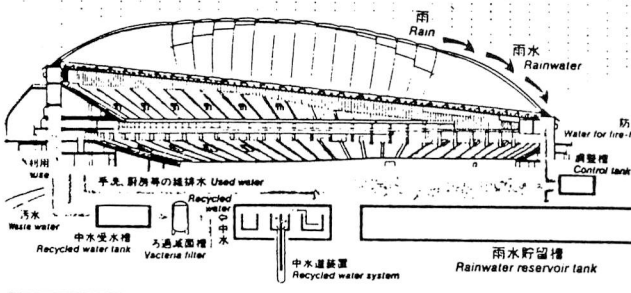
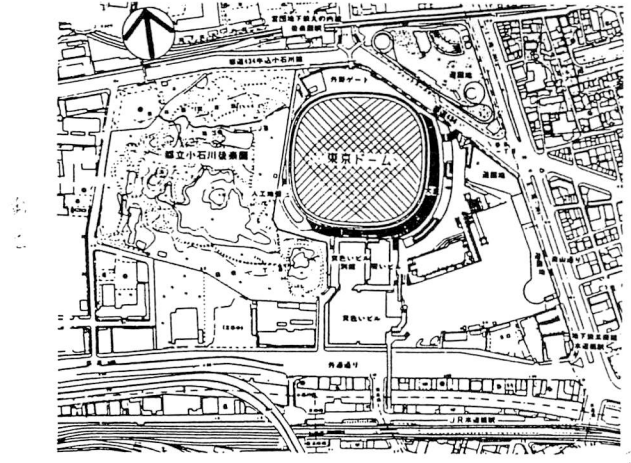
鉄板になり、いまやアルミやステンレスに加えてチタンが使われる時代になった。ところが東京ドームの屋根はガラス繊維布にテフロンをコーティングした厚さ0.8mmの薄い膜で出来ている。これに14本×14本のメッシュ状にワイヤーを掛けて、膨らませている風船屋根である。このワイヤーには避雷針に変わる『避雷導帯』が添わせてある。風船屋根は二重膜になっていて中に45℃ぐらいの温風を吹き込み、融雪機能をもたせ

合わせて断熱効果ももたせている。風船は破れる心配があるがこの対策として三万二千平米ある屋根を25枚のパネル状にして1枚や2枚が破れても屋根を膨らましたままで修理ができるような構造になっている。ところで心配なのは、耐用年数である。テフロンは摩擦係数が極めて低く、非濡性、電気特性、耐薬品性にひじょうに優れているので耐用年数は20年としている。これは落雷テストとか落下物テストなども実験さ

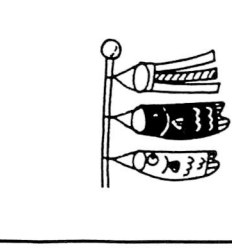
れて決められた。風船を膨らませていると内部分は幾らか気圧が高いのではないかと思われるが、外部との気圧の差は0.003気圧程度高くなっている。私は一昨年東京ドームを見学してきた。この気圧の差はビルの一階と9階との差になるくらいだそうであり、感じない。しかし出入り口が幾つも入り人が出入りしているため、風船を膨らませた状態にしておくには絶えず送風していなければならぬ。多くは回転バ

アで出入りするが、普通のドアも利用される。このドアから出るときに、風が押されて放り出される感じである。またこの風船屋根は超楕円形で傾いているのが特徴でもある。風船屋根を傾けたのは隣接する小石川後楽園への日照や風の影響を配慮して建物内をホーム側よりセンター側を20m高さを低くしたから。薄くて軽い屋根といっても406トンもある風船屋根は気圧の変化や、空気漏れればしんどい。このためハ

イテクを結集している、コンピュターがなくて東京ドームは出来なかったし、また維持もしていけない空気が支える大空間である。収容人員56000人いろいろの使いずくめである。退場は20分で完了出来る……トイレも凄いで35か所に488人分、外部に公衆便所が73人分ある。この洗浄水を中水で34%まかなっている。
東京ドームの南側を流れる神田川が集中豪雨のとき氾濫すること、社会的問題となつては、都市のコンクリート化により雨が大地に吸い込まれること



また手洗いや厨房の雑排水も再生処理して使用している。中水の再生処理能力は1日あたり雑排水400立方メートル、雨水220立方メートルの、合計620立方メートルで東京ドームのピーク時使用量の34%になる。



支部だより

名古屋連合会

ゴルフコンペ開催！



染井吉野の桜を楽しみに、ここ品野台カントリークラブに於いて第十五回名古屋連合会ゴルフコンペが開催された。風もない絶好のゴルフ日和、前年度は桜も満開であったが、今年は前回より一週間位早いせいか、桜はつぼみ固しといったところ。

今回も六組早々全員集合。連合会村上会長より日頃お世話になっているメーカーの方々に、早朝から多数の参加に対してお礼の言葉等、挨拶があり続いて大脇氏よりルール説明があり、そしてスタートだ。一組目連合会長のショットや右のラフ、二組目我中川・港の棚橋さんゴルフキャリアが長くうまい。これもナイスショット、百七〇ヤード位飛んだ。「ゴルフは上がつていくつだぞ」といつも言われている。いよいよ私の番だ、くじ運が悪いオナーになった。ミドルホールパー4ティアップし素振り二〜三



中川・港

ちすじ

一日の仕事を終え、黄昏に家路につく頃、都心には黄金色に輝くテレビ塔が見え、東を見れば東山スカイタワーがイルミネーションに浮かぶ。

振り返れば私がスカイタワーの展望レストラン厨房室の壁にステレンスを張った(22m)のは平成元年四月の下旬だった。完成して間もない頃トンガリ屋根から雨漏りがしてレストランも休業したことがある。その東山スカイタワーも完成してまもなく二年になる。

今年一月二十四日から二月二日までの十日間中日新聞の朝刊に『東山タワーから見える山』と題して十回の連載記事が掲載された。その第五回に鷺ヶ岳が紹介された。白鳥町、莊川村、高鷺村の境に頂く一六七二mの鷺ヶ岳は年間二十日ほど見る事ができるそうだ。その記事の末尾に、鷺ヶ岳の山名の由来が書いてあったので紹介する。『かつて地元の武蔵権守が、鷺の子二羽を皇子誕生の祝いで天皇に

はないかと、これは血筋ではないだろうか。顔が似ている、所作までもが親に似ている、祖父母に似ている、これは紛れもなく血筋である。

献上し、鷺見という姓と領地をもらったためその山名がついたとの文献が残る』と紹介された。

私の家にも「鷺見家の史蹟」という本があるが同じ事が書いてある。藤原鎌足一不比等一房前一魚名の後、十二代続き永暦元年(西暦1160年)藤原頼保が天皇の勅命により雲ヶ嶽(今の鷺ヶ岳)で大鷲を退治して鷺の子二羽を天皇に献上して鷺見と言う家名を賜ったとある。鷺見を名乗るようになってから830年になる。

健康

休養と健康

休養とは「身心を休ませ、気を養うこと」。

いいかえれば、一日の活動による身心の疲労を解消し、新たな元気を回復することです。

この活動と休養の調和こそ、健康な生活のリズムです。

要です。昼間ハッスル、夜グッスリ!!昔、肉体労働が中心だった時代の休息は、からだを休め一服することでした。

頭を使うことが多い現代では、むしろ軽い運動をすることが精神的疲労の休息になります。

◎精神的なストレスの多い現代社会ではどうしても心の疲労が蓄積してきます。

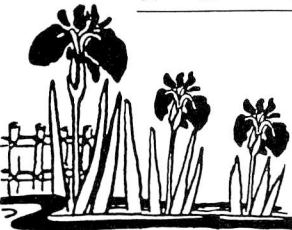
余暇には、趣味を楽しんだり、仲間とスポーツをしたりして心の休養を。

おいしいものを食べたり、アルコールをいばいもよいでしょう。ただし適量に。

◎快適な眠りには、適度な身心の疲労が必須。

が、板金工にならなかつたら新聞記者にでもなっていたのではとふり返ってみれば、若い頃から弁論大会に出たり、広報のようなことはよくやっていた。

鷺見 収



富士山ぐるっと

一回り

粉雪の舞う2月のある日、写真ボケの友人と二人で「富士山写真撮影」のバスツアーに参加した。

一行25名、平均年齢60才中ばくらしい。二人組で参加したのは我々と外に2組だけ。あと1人参加の人ばかり。中でも60才代70才代の女性が8人もいる。それも高級機材を持込んだ参加にはおどろいた。最近年配の女性の写真マニアをよく見かける。女性らしいソフトな感覚で撮る作品は、一味違ったすばらしいものが多く作品展でもよく入選している。

名古屋駅前を出発する時ちらついていた雪も東名高速に入り静岡を過ぎる頃は、雲一つない快晴になった。東名高速の中で富士山が一番印象的に見えるのが由井ヶ浜海岸である。今日も我々一行を出迎えてくれるように、快晴の中、富士のすばらしい全姿を見せてくれた。富士インターを出て、白糸の滝へ向う。真冬の平日でも相変らず観光客が一杯で騒々

る逆さ富士と、キラキラ光る湖面が美しい。予定通り山中湖と河口湖の中間位に在る忍野村の富士急ホテルに到着。我々の目的はこれから本番だ。今回の撮影ツアーでは30年間富士山を撮り続ける富士吉田在住の有名な写真家、飯島先生の講義と撮影指導が組込まれている。早速忍野村での撮影場所、技術指導を受け夕景を撮るためホテルの庭へ飛び出した。屋や広い庭から富士山が真正面に見られ、威圧感をおぼえる。夕日に輝く富士は又すばらしい。山頂付近にまとわりつく雲があかね色に映え、刻々と日が落ちるにつれて山と雲の色調の変化にすばらしい自然のドラマを見せる。

夕食後、再び飯島先生の講義を聞いた後、スライドによる四季の富士山を、二時間余りにわたって見せてもら



本相湖の富士

った。早朝五時半、全員揃って撮影ポイントに向う。先生の指導で各自機材をセットして夜明けを待つ。今朝の日の出は6時23分。富士山周辺は雲一つない。寒さは思ったほどではな



忍野村の富士

くこれだけは助かった。暗闇の空が白み始め、富士山頂にうつすらと赤味を帯びて来た。太陽が上るにつれ赤味を増し、快晴の中に紅色に輝き悠然と全姿を見せる富士山。我々が一番期待して来た「紅富士」の一瞬である。「今がチャンスですよ。がんばってください」先生の声に夢中でシャッターを切り続ける。この間約十分か十五分。紅色はだんだん薄くなると共に下界の木々ややぶきの民家が姿を現わし始め、川面には富士山が写って、自然は幾度となくシャッターチャンスを作ってくれる。平日なのに人気のあ

るものがあつた。飯島先生と忍野村に別れをつけ、途中河口湖と富士急ハイランドで自由撮影の後、御殿場インターより帰路についた。同じ趣味を持つ者同

志とはいえ、初対面の人ばかり。しかし帰りには皆お友達。来年も又一緒に来ましようという約束です。富士山ぐるっと一回り、楽しい二日間であつた。

編集後記

暗くて長い不況のトンネルを抜けたとたん、視界150%絶好況に転じ「いざなぎ景気（一九六五～一九七〇、七月まで57カ月連続で拡大）に迫る、53カ月目に入つた。今年始めの頃では、後半頃から景気後退がはじまるとの見方が、四月中旬の経済動向調査では、八月以降も景気拡大が続くと見る企業が58%と、前回調査を大きく上回った。しかし、好景気に反映して、労働力不足は益々深刻化してきている。毎年三月から四月にかけて労働市場に登場する新労働力人口は年々鈍化し二十一世紀初頭には伸び率、ゼロもしくはマイナスイナスになると予測される。又、これとは別に、今年四月より労働時間の短縮が行われ、週48時間が46時間に、数年後には週40時間、年平均2千時間に設定された。ちなみに、平成2年度愛知県の建設関連労働時間は、年平均2240時間、就労日数20～24日、首都圏での平均日給28000。人手不足と労働時間短縮、何とも矛盾した話ではあるが、時勢でもあり前向きな取組みが望まれる。一人親方が80%近い板金業界では、後継者不足、高齢化、作業時の天候など大変難しい問題であるが、少しでも長持ちさせ、ゆとりのある健康で生活するために切り離せない事ではないだろうか。まもなくゴールデンウィークを迎えようとしている。9連休10連休とまではいわないまでも、せめてカレンダー通り位は休みたいと思う。

四月二十六日(金) 晴
二五〇号 編集会議
委員 五名出席
午後五時三十分終了